

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

2030年における、持続可能な社会の実現に向けて本法人のビジョンでもある「この町には安心して生活^{すむ}ことができる」をステークホルダー全てが実感できる経営ならびに取り組みを行っていく。

また、社会福祉法人・高齢介護を専門とする企業としてご入居者・ご利用者の「私たちの住んだ町、地域を無くさないで」「昔の活気のある天明地域にしてほしい」願い・想いに応える為の社会活動を行う。その為の具体的な手法として、「協働」をテーマとした業種横断の協力体制づくり・農業漁業の活性化・少子化問題への対応を取り組んでいく。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ○社会 ◎経済	電力について全館LED照明に切り替えを行っており、また電力消費が高くなる時期においては全館集中のデマンドにて省エネを図り、エアコン等の機器の効率活用を行っている。電力使用量の低下によるコスト削減も行う。	2023年までに現在の電力使用量・コストと比べ5%の削減態度
◎環境 ○社会 ◎経済	令和3年度中に、重油燃料の冷温水機を、電力型に切り替え、温室効果ガスの排出抑制を行う。	2023年までに現在の温室効果ガスの排出・燃料費を10%の削減
○環境 ◎社会 ○経済	令和3年4月1日時点、熊本市南区奥古閑・川口・銭塘・中緑校区(旧天明町)人口7,962人である。20年前の10,076人から年間約100人ほどの人口減少が続いている。これに対し地域団体横断での対策組織として「天明地区を考える会」を5年前から発足し、協力体制づくりを行っている。これらの活動を通じて地域活性化・集落継続の為の取り組みを行っていく。	地域横断の協力体制の構築に向けて、団体横断の会議を年2回行う。

<パートナーシップ>

①社会医療法人 寿量会 熊本機能病院(グループ企業として、業務連携を行っている)
 ②奥古閑校区社会福祉協議会、川口校区社会福祉協議会、銭塘校区社会福祉協議会
 中緑校区社会福祉協議会
 (ひとり暮らしの見守りを目的とした「ふれあいランチ事業」において20年間、業務委託を受けている。また、校区社協主催のサマースクール等のイベントにおいて企画・会場運営等で連携し取り組んでいる。)

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。